

週刊新社会

7月24日



2018年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 164円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

西日本豪雨被災 初動の遅れは安倍政権のおごり

エアコンだけでは済まない 教育環境の改善

登校途中の小学生に「学校涼しいかい」と尋ねると、笑顔で「涼しい」と返ってくる。この猛暑に冷房が間にあってよかったと思う。2学期制導入に伴い、従来の夏休みに校長の判断で3日間を限度に食い込む形がとられている。そういう意味ではエアコン導入は遅きに失したといえる。

これまで野田市は学力向上を中心にすえて、二学期制（2004年度導入）や隔週土曜授業（2014年度導入）を行ってきた。

とりわけ、隔週土曜授業は2007年度からの「全国学力テスト」結果の影響をまろに受けた。全国最下位クラスという野田市の結果に

衝撃を受けた前市長と市教委が進めたものだ。

しかし、毎年小学校6年生と中学校3年生だけを対象にしているため、同じ児童生徒の経年比較にむかないテストである。それでも

根性論では済まない教育の複雑さ

しかし、これまで日本はOECD加盟国中最多の授業日数であり、学力と授業時間は相関するという単純なものではない。部活同様、単なるガンバリズムで改善するはずもない。

大勢のクラスの中で授業が理解できず、苦痛の中で過ごさなくてはならないという状況を、少人数学

野田市は2009年度からテスト結果（市内平均点とと全国の位置）を発表していたが、新市長になり昨年度から点数の発表はなくなった。

その理由は前述したように経年比較にむかず、数字が独り歩きする弊害があるというもの。正論であるものの、結果が出ないためではないのかという皮肉な見方もされている。

級や複数指導などで改善しなくてはならない。進む貧困も学力や体力等にマイナス要因になっている。

教員こそゆとりを

本来働き方改革の最初にやらなければならないのは教員の多忙や長時間労働の解消だ。基本給の4%加算の定額働かせ放題となっている給特法（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）は廃止し、きちんと残業手当を払うべきで、ただ働きを放置すること自体が許されない。

もちろん、非正規教員が増えるばかりのやりくりもやめて、定員を大幅に増加させなくてはならない。教員こそゆとりがなければ子どもを統制することにつながる。せめて世間並みに土日は休みにするべきだ。

結局教育は人の手によるしかない。



昨年度政務活動費 議会が発表

昨年度の議会政務活動費の使用 意欲がないとしたら問題だが。

状況が発表された（表参照 政清会は年度途中で一人減）。全体の使用率は62%。監査委員からもっと使えと指摘された一昨年度は65%で、さらに下がった。調査や活動

会派名	所属人数	交付額(円)	支出額(円)	残額(円)
政清会	12	3,037,500	2,042,389	995,111
公明党	5	1,350,000	472,658	877,342
民進連合	4	1,080,000	778,912	301,088
日本共産党 野田市議団	2	540,000	537,653	2,347
新社会党	1	270,000	220,205	49,795
みん清クラブ	1	270,000	67,508	202,492
市民ネット ワーク	1	270,000	129,908	140,092
新しい風	1	270,000	168,001	101,999
無所属の会	1	270,000	137,904	132,096
支出計	28	7,357,500	4,555,138	2,802,362

東武鉄道が今年度工事発表

20 年度から運河・船橋間で急行運転

本年度の東武鉄道の設備投資計画の概要がわかった。アーバンパークライン（野田線）関係で特筆されるのは、柏・船橋間で単線で残されていた六実～逆井間の複線化（すでに工事中）を 2019 年度中に完成させ、それにあわせて運河～船橋間を急行運転として開始することだ。

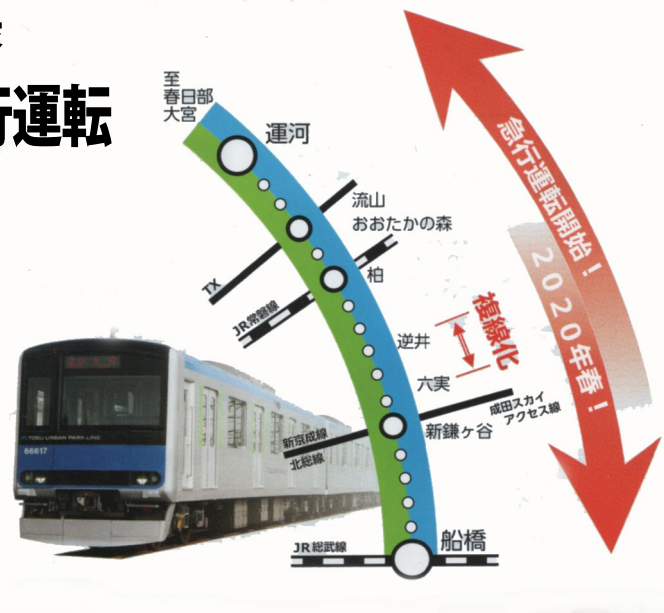
こうなると単線高架事業を行っているため、複線化が困難な野田市内ではせつかくの急行もいつまでも各駅停車という状態に置かれてしまう。あらためて単線高架を急ぎ、東武線複線化より新線誘致を図った野田市の行政姿勢が問わ

れることになる。

なお、急行が停車する駅は未定だが、他線と交差する駅は当然候補に挙がると思われる。現在運行中の急行も春日部～柏間は各駅停車だ

が、運河からは急行運転となる（イメージは東武鉄道資料から）

駅ホームの安全を図るホームドア設置は流山おおたかの森、春日部、大宮各駅で、2021 年度以降の整備となる。一日利用者が 5 万人以上が対象で、市内駅はそれを



満たしていない。

野田市内の工事は清水公園と愛宕駅の間から平成やよい通りの立体交差手前までの 2.1km の高架工事が引き続き行われる。愛宕駅と野田市駅は高架化され、市事業で両駅前の整備も行われている。完成目途は 2023 年度。また橋梁の耐震補強工事として江戸川架橋も対象となり、今年度実施される。

審議会等委員公募中

野田市が各種審議会の公募委員を募集している。共通条件は野田市に 1 年以上住んでいる 18 歳以上の方で、議員や正規職員でないもの。また他の審議会の公募委員でないこと。

公共下水道運営審議会 2 名

公共下水道利用者 31 日締切
文化センター運営審議会 2 名

31 日締切
地域福祉計画審議会 1 名

8 月 16 日締切
保健医療問題審議会 2 名
締切同上

老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会 2 人 締切同上



11 月 11 日告示・18 日投票の松戸市議選挙が行われるが、増田かあるさん（現職・1 期 写真中央）の励ます会が松戸市内で 21 日に開かれた。議会改革が遅れた松戸市議会にあって、めげずに頑張ってきた増田かある議員は、「いきいき子どもが育つまち」「いきいき誰もが暮らすまち」をスローガンに、「貧困・格差のない平和な福祉のまちづくり」をめざす。ご支援ください。